JCLA22 プログラム

9月4日（土）

		ワークショップ 第１室 （Room A）	ワークショップ 第２室 （Room B）	ワークショップ 第３室 （Room C）
ワークショップ	10:00 ｜ 12:00	**"Reconsidering the structure, function, and role of construct-i-con: Toward an empirical study of construction grammar"** Naoki Otani (Tokyo University of Foreign Studies) Naoko Hayase (Osaka University) Yoshikata Shibuya (Kanazawa University) Ryoko Uno (Tokyo University of Agriculture and Technology) Yoshihiko Asao (National Institute of Information and Communications Technology) Martin Hilpert (Université de Neuchâtel) **＊Presentation in English**	**「構文の学習と部分的生産性の条件付け要因の探索的研究」** 木原 恵美子（神戸大学） 巽 智子（神戸大学） 濱野 寛子（名古屋学院大学）	**「認知言語学と英語教育/学習 ― 日英語の違いに焦点を当てて」** 今井隆夫（南山大学） 都築雅子（中京大学） 中谷博美（滋賀県立大学） 中川右也（三重大学）

		メインホール
総会	13:00 ｜ 13:30	開会挨拶・事務局報告・学会奨励賞授賞式
特別講演	13:30 ｜ 15:30	**演題：The road ahead for Construction Grammar: Connections, controversies, and collaborations** **講師：Prof. Dr. Martin Hilpert（ヌーシャテル大学）** **司会：大堀　壽夫（慶應義塾大学）**

			研究発表 第１室 （Room A）	研究発表 第２室 （Room B）	研究発表 第３室 （Room C）
研究発表	第1発表	15:45 ｜ 16:20	**「『旅』の意味分析」** 梶川克哉（愛知文教大学） 姚毓茜（フリー）	**「Moving Timeの経験基盤に関する実証的研究」** 朝本美波（フリー） 谷口一美 （京都大学）	**「日本語複合動詞の受動態形成について」** 森貞（福井工業高等専門学校）
	第2発表	16:25 ｜ 17:00	**「程度性に言及する『鬼』と『神』の用法について」** 柴田龍希（名古屋大学[院]）	**「プライマリーメタファーと写像の欠落について —ANGER IS THE HEAT OF A FLUID IN A CONTAINER からみた日越対照研究—」** Doan Ngoc Minh Tran（大阪大学[院]）	**「動詞「ナル」の意味拡張について ―『ことになる』を中心に―」** 大方芳恵（フリー）

懇親会	17:15 ｜ 18:15	**メインホール** **（事前登録不要・参加費は無料です）**

9月5日（日）

			研究発表 第１室 （Room A）	研究発表 第２室 （Room B）	研究発表 第３室 （Room C）
研究発表	第3発表	9:30 ｜ 10:05	「『X的なY』から言いさし用法『X的な。』への拡張について」 沈雪君（法政大学［院］）	「現代日本語における［X＋型］タイプの派生名詞—カテゴリーの属性に注目して—」 大志民彩加（名古屋大学[院]）	"Cicada Showers and Bell-shaped Flowers: Image Metaphors and Simile Markers in Japanese" パトリック・パーマー（福岡大学[院]） ＊Presentation in English
	第4発表	10:10 ｜ 10:45	「話し言葉の文末における『のだけど』の使用に関する一考察」 胡蘇紅（名古屋大学）	「多義語のカテゴリー拡張における項構造との関係—第一種二重主語文を取りうる形容詞を事例に—」 西内沙恵（筑波大学[院]）	「Twitter投稿中の絵文字使用にみられる記号的流動性の考察」 西村綾夏（フリー）

		Room A （各発表はブレイクアウトルーム（BR））		
ポスターセッション	11:00 ｜ 12:00	【BR1】 「日・中手話における空間の運用と認知」 唐昭君（関西外国語大学[院]）	【BR2】 「Langacker の construal の考え方の変遷とその批判的検討」 向井理恵（高岡法科大学）	【BR3】 「心理表現における与格経験主の認知的意味機能—日西対照言語学的観点から—」 西口将司（神戸市外国語大学[院]）
		【BR4】 「韓国語を母語とする日本語学習者の名詞修飾構造の習得—『スロット付きスキーマ』合成仮説の観点からのコーパス分析—」 橋本ゆかり（横浜国立大学）	【BR5】 「看護診断アセスメント指針は如何に実践されるか—メンタルスペース理論の見地から—」 大西美穂（名古屋短期大学） 舩田千秋（東海国立大学機構医療健康データ統合研究教育拠点 名古屋大学医学部附属病院） 菊内由貴（国立病院機構四国がんセンター）	【BR6】 「日本語の例外的対格付与構文における参照点構造について」 森永恵理（園田学園女子大学）
		【BR7】 「『喜ぶ』は感情の外的表出を伴うか—選択制限にまつわるテストの妥当性—」 坂場大道（大阪大学[院]）	【BR8】 「＜主語名詞＞設定の提案—主語をめぐる問題の整理—」 島映子（フリー）	【BR9】 「構文の局所性と動機付けについての考察—[V O with 身体語] の事例分析をとおして—」 野澤元（京都外国語大学） 神原一帆（京都外国語大学[非常勤]） 高橋武志 （京都外国語大学[院]）
		【BR10】 "Variable Experiencers and Intersubjectivity in the Construction of 'It feels + Adjective + to + Verb'" 国政文佳（フリー） ＊Presentation in English		

			研究発表 第１室 （Room A）	研究発表 第２室 （Room B）	研究発表 第３室 （Room C）
研究発表	第5発表	13:00 ｜ 13:35	「英語の動詞由来-er名詞の合成的意味と構文的意味の連続性」 砂谷恒夫（フリー）	「日韓語の『縮約節』における推意の潜在と顕在化—目的関係と可能関係を表すタイプを中心に—」 李載賢（名古屋大学［院］） 堀江薫（名古屋大学）	「中国語の感覚範疇における擬態形容詞の意味分析—日本語の擬態語との比較を通して—」 張暁琳（大島商船高等専門学校非常勤）
	第6発表	13:40 ｜ 14:15	「N-proof Xの意味規定に関する構文分析」 菊池由記（大阪大学[院]）	「語りの文脈における日本語無生物主語構文の英語的ふるまい—言語使用の三層モデルの観点から—」 石川和佳（筑波大学[院]）	「ベトナム語の視覚動詞xemの文法化について—『一方向性仮説』に基づく解釈—」 山﨑雅人（大阪市立大学）
	第7発表	14:20 ｜ 14:55	「NN構文における意味の変異について—[N+garden] 問題から—」 近大志（京都大学[院]）	「移動事象についての “Thinking for translation”—日本語からペルシア語と英語への翻訳—」 ジャヴァンマルディ・パリーマ（東北大学[院]）	「スケールを持つプロファイル決定子としての句接辞—「書きたて」「開けっぱなし」「休みがち」などを対象に—」 平野啓太（大阪大学[院]）

		メインホール
シンポジウム	15:10 ｜ 17:30	テーマ：構文と捉え方 — 英語中間構文を巡って
		司会・講師： 吉村公宏（龍谷大学） 第１発表：板垣浩正（常磐大学）「構文カテゴリーとその周辺事例の形成について」 第２発表：谷口一美（京都大学）「中間構文のダイナミズム：言語獲得、構文変化の観点から」 第３発表：本多 啓（神戸市外国語大学）「無標識可能表現としての中間構文：アフォーダンス、エフェクティヴィティ、原因帰属」 第４発表：吉村公宏（龍谷大学）「英語中間構文における属性認知の発生機序」